

## 松戸市まち・ひと・しごと創生懇談会（第3回）開催概要

日 時	平成28年9月29日（木）	16:30～18:30
場 所	松戸市役所 新館5階	市民サロン
出席者 (敬称略)	影山貴大、角畑博文、高橋正剛、高山健太郎、平岩光現、 眞壁哲夫、吉原康夫	(欠席：秋田典子)
事務局	松戸市総合政策部まつど創生課	

### ■次第1 「開会」

○出席者の自己紹介

### ■次第2 「懇談テーマ」

#### (1) 地方創生交付金事業の検証について

○事務局より資料1-1、1-2について説明

(事務局)

- ・国から今回検証を要請されている、地方創生先行型交付金を活用した12事業について、資料1-2の⑧の欄を埋めていくようなイメージでご意見ををお願いします。意見の有無、検証そのものの難しさなども含め、ご意見やご指摘を頂きたいと思います。

(影山氏)

- ・設定したKPIに対して、それをどう達成していくか、という観点からは、いま事務局で説明のあったもので良いとは思いますが、そもそもKPI自体がこれで正しいのかどうかは別問題としてあります。
- ・NO.1「介護人材育成のための事業」について、事業の建て付け、いろいろな分野と組み合わせてというのは面白いと思う反面、そもそも介護という世界において、問題点はそこなのかなど。介護環境だったり職員の給料だったり色々問題はあると思うので。就職するというKPIを達成する意味ではこれで良いとは思いますが、どういう状態をつくり上げたいのかと考えたとき、これだけでなく、複合的に見ていく必要があるなと思います。
- ・NO.2「放課後児童子ども総合プラン事業」について、空調はあっていいと思っているので、問題ないと思います。学習支援のほうは、利用者から好評だったこともあ

り今後も継続する方向とのことで、交付金があるから一時的にやるということではなくて、続けていってもらいたい。単年度での効果もあったかも知れませんが、補習を受けた子どもたちが今後どうなっていくのか追っていくと、中長期的に効果が出るものだろうと思います。

- NO. 3 「保育園送迎サービス運営事業」について、流山市の例もご紹介があったが、あっていいものかなと思う反面、定期利用者11名というのは感覚的に少ないと思いました。今回は東部地区への送迎ということだが、市内の各地域に広げていくという場合、それを求める親御さんもいるでしょうから、行政サービスの一環としてこういうものがあるのはいいことだと思います。これも後々効果が出てくるものだと思います。流山がやっていて松戸がやっていないというのは、そこが差になってしまう可能性もあると思います。
- NO. 4 「子育て支援環境総合整備事業」について、そもそも市民センターにその年代の人が多く行くのかという話にもなりますが、授乳室の整備はさておき、ハード面の事業をやるときにソフト事業もやらなくてはいけないということで、ちょっとやっつけになっちゃったかなと。人数はこれだけ講座やイベントにも集まりましたが、何を生み出したかったのか、どうつなげていったかったのか、成果が見えづらいとか。ここからどういう流れに持っていったかったのか。そこが明確でなかったが故に、子育ての満足度という指標に直結しなかったんだろうと。参加した保護者は楽しかったと思いますが、現場とのズレとか。この事業が悪いわけではなくて、その辺りを詰めきれないまま実施されたことなのかなという印象があります。
- NO. 5 「乳幼児、子ども、子育て世代のための防災啓発事業」について、今は台風とか地震もありますから防災の啓発は重要だと思いますので、冊子の作成とか、何かあったときに身の回りを見るものがあるのは良いと思います。世代が特化されていますので、高齢者や私たちのような世代に届かないのはもったいない気もします。防災訓練等に参加したことがある人の割合、というKPIは多少上がってはいますが、年齢を限定した指標ではないとのことなので、多世代への取り組みにすれば、もっと割合は上がるのかも知れません。
- NO. 6 「徳川の家と庭 文化・観光国際化対応事業」について、戸定邸は松戸のひとつの売り、大きな財産だと思います。短期的に見て地方創生に効果があったか結びつけるのは難しいですが、ホームページのアクセス数、というKPIに対しては十分成果を挙げていますし、今後も伸びてくる気もします。観光の拠点のひとつであることは間違いないと思います。
- NO. 7 「コンテンツ産業振興事業」について、おそらく松戸も人口減少していくと思いますが、どうやって財政を維持していくのか、というときに、こうした松戸発のコンテンツ、立地面でも松戸はコンテンツ産業に適した部分があると思いますので、新しい産業を生み出していくのは効果があると思います。
- NO. 8 「B型肝炎予防接種業務」と、NO. 9 「おたふく風邪予防接種業務」について、これはあって然るべき事業だと思いますので、今後も続けていただければと思います。
- NO. 10 「交通利便性向上検討事業」について、市民ニーズを調査したというのは

重要だと思います。空き家対策にも同じことが言えますが、協議体を設置したようですが、なるべく多くの市民のかたが参画できる枠組みも必要と思います。有識者や町会長のお力も大事ですが、そうではない一般の市民のかたも一緒にまちづくりをしていくことも重要。そもそも地方創生において、まちの人々が自分のまちに興味関心を持つ状態をつくり上げないと解決しない問題も多いので、そこにつなげていただきたいと思います。

- ・ NO. 1 1 「空き家等対策事業」について、いずれ着手しなくてはいけない問題ですので、今回調べたことを今後どのように活かしていくのか、ソフトの部分につなげていくことになると思うので、引き続きお願いします。
- ・ NO. 1 2 「若者と女性が創造的に働くためのフューチャーセンター構築事業」について、私も非常に期待している反面、去年も、働くの未来を考える、のセッションに参加しましたが、中身の部分、ソフトのところ、惜しいなと感じているところもありまして。それから、せっかくフューチャーセンターがあるんですが、なかなか動きが見えないと言いますか。説明のなかで、ディレクターとかファシリテーターに触れていましたが、地域人材を育成していく上で非常に重要な人材になっていくと思います。そうした人材の育成は今後やっていくんだらうという動きは見えるのですが、せっかく日本初なのに、中が稼動していない。中身に関しても、ワーキング会議には市役所の各課の職員が参加しているようですが、例えばそこにも学生と一緒に考えてみるとか、若い世代でまちづくりに参画している人を交えてみるとか、様々な意見を持ちながら中身を稼動させていくというほうが、より魅力的になるんじゃないかなという気がしています。現状で、非常に効果がある、と評価するのは少し微妙な気もしますが、今後松戸のひとつの売りになっていく可能性を大きく秘めているなというのが私の率直な感想です。
- ・ 以上全体を見て、しいて言うならば、NO. 4については、総合戦略のK P I達成に有効であったとはいえない、という選択肢のほうを選びます、達成の手法という意味で。他の事業も、一概に単発でK P Iを達成するのは難しいんですが、かといって、有効でない、とジャッジはできません。

#### (角畑氏)

- ・ 1 2 事業すべてに肯定的な立場であります。
- ・ 地方創生というのは、最終的には人口を維持したりとか昼間人口を増やしたりとか、そういったものが達成できるかどうか。今の段階で効果を検証するのは非常に難しいと思います。しかしK P Iというものを設定しており、それに対しての有効性という視点であれば、NO. 4を除いたすべての事業について、有効であった、という選択肢を選んでいきます。

#### (高山氏)

- ・ 有効であったか無かったか、ということでは、基本的には、おおむね有効であった、と捉えています。

- ・NO. 1 「介護人材育成のための事業」について、雇用に至らなかった事業所も多かったとのことで、その原因などを調べると同時に、介護事業そのものに詳しくはありませんが、介護事業自体の他市との差別化を含めて検証したほうが良いのかなと思います。他市に先駆けてこういうサービスが受けられますとか、松戸市の売りみたいなのがあれば、世間からも注目されて好循環が生まれるのかなという気がします。
- ・NO. 3 「保育園送迎サービス運営事業」について、先ごろまで子どもを保育園に送迎していた立場から申し上げると、土日の保育支援とか延長保育とか、働き方の多様化がどんどん進んでいますから、そういったものにも追従する形というか。送迎保育については流山が先行していて、それがウケていることは重々承知しています。流山に追いつくことも大切でしょうが、少し違った視点で。働く者の代表という立場で懇談会に参加していますので、働き方の多様化にあわせた保育の運営の仕方というのを検討してほしいと思います。
- ・NO. 10 「交通利便性向上検討事業」について、京成さん、新京成さんが協議会に参加されているということで、我々連合のほうにも報告が来ております。非常によい取り組みだと思います。あとは、いま取り沙汰されているのが、買い物難民の話があると思います。コミュニティバスの経路についても、通勤の議論はされていると思いますが、免許を返納した高齢者の買い物ニーズなどもあわせて見ていったほうが良いと思います。柏では国道16号線沿いに大きなショッピングモールができましたね。船橋もそうですが、松戸の周りにはショッピング関係の施設ができていますから、そういう所とあわせてやっていくことも必要かと。私が行く八千代緑ヶ丘のショッピングモールでも、定期的に〇〇方面行きの無料送迎バス出します、というのがあります。そういったものとかからめるのも有効だと思います。
- ・NO. 11 「空き家等対策事業」について、空き家の問題は頭の痛い問題と認識しています。そもそも何故空き家になったのかという原因が色々あると思いますが、松戸市も三世代同居の支援を始めたということで、(船橋に住んでいるので) うらやましく思います。戸建てをリフォームしようとしても限界がありますし、さまざまな制限のなか三階建の住宅にしても、高額になりますし税金も上がると思います。そういった支援もあってよいのかなと。松戸市独自の支援を進めれば、効果が見込めると思います。
- ・NO. 12 「若者と女性が創造的に働くためのフューチャーセンター構築事業」について、私も1月のセッションに弊社の女性社員と参加いたしました。参加者のかたは非常に意識が高く、やってよかったなという感想を持っています。ただ、KPIとしている、20歳代の就業率、とかよりも、いま実際問題なのは女性のM字カーブ、どうしても子育ての時期に離職してしまうことが、日本は他国に比べて非常に落ちていると。これは国の政策とか、我々連合もやらなくてはいけないことでもありますが。子育て世代のかたの就業に関して何かできればなと思います。根本的には、日本独特の風習として男性が非協力的というのがあると思います。男性が育児や家事に参加するための取り組みがあるといいのかなと思います。

### (平岩氏)

- ・全体的には、有効であった、としています。
- ・NO. 1 「介護人材育成のための事業」について、良い取り組みだと思います。生活保護の手前の人にアプローチをして仕事を紹介する、それがまわり回って行政としての生活保護の支出も減っていきますし、この事業に限らず、このシステムをしっかり確立していけば非常に良い取り組みになるのではと思います。一方で、良いシステムとは思いますが、ゴロっと転がしていくためには、初年度ということもありますが、人員の部分、雇用に至らなかった事業所もあったようで、もう少し広くアプローチする努力が必要かと。それから退職された人については、なぜ退職したのかというところを掘って行って改善していかないと、システムは良いんだけど結局実が取れないということになりかねません。100%は難しいとは思いますが、せっかくシステムにのった人が継続していけるようなフォローについても力を入れていけば、本当に良い、手本となるようなものになると強く思います。
- ・NO. 3 「保育園送迎サービス運営事業」について、民間企業にいる者の率直な感想として、11名の利用に対して1千万円、1人あたり97万円、6か月ですから月あたり1人16万円かかっています。今期に関しても2千万円の契約を結んでいて利用者が14名と。ホームページを拝見しましたが定員25名となっていて、定員にも満たないということで。ニーズとのバランスはどうなのかなと。ウチの従業員で時短で働いている女性に聞きますと、松戸市はいま待機児童ゼロを達成したということですから、そこではなくて、時間を遅くするとか、お金を使うのであればそういうことにも対応できるようにするとか。単価でみると非常にコスト高の事業という印象を受けますので、この辺りは改善の余地があるのではと率直に思います。
- ・NO. 11 「空き家等対策事業」について、三世代というアプローチは良いと思いますが、一方で、まちを活気づけるという観点では、今後の東京オリンピックなどを考えると、松戸は非常に立地が良いところにありますので、民泊だとか、そういうアプローチで活性化も含めて考えられないかなと思います。

### (眞壁氏)

- ・全般的には、有効であった、としました。NO. 4は、有効とはいえない、としました。
- ・NO. 6 「徳川の家と庭 文化・観光国際化対応事業」について、以前から私は戸定邸戸定邸と言っておりますけど、この事業としては、予定通り終了、ということですが、あれだけの戦略的なものをもっともっと迫力あるものにしていく、あらためて戦略を再構築して進めていくべきではないかと思っております。その場合のひとつとして、NO. 7 「コンテンツ産業振興事業」とからめて、このところ自治体や地域でアニメとかを製作しながらそれをスマホのアプリに入れて、現場に直接来る人を増やすような取り組みが見られますけれども、そうした方向性も、コンテンツ産業の振興かたがた、戸定邸についても創っていただくような。戸定歴史館にも書いてあるように、単なる大政奉還ではなかったんだよ、ということが潜んでいるわけですから、

そうしたものがジワっとくるようなアニメとかがあるかなあと。いまのシリア内戦のような酷いことを日本では起こさなかった、そういう貢献者だったから勲一等だったのだろうと。それだけのことを訴えることができれば国内だけでなく海外にまでアピールできる気がするんです。そういう魅力に惹かれてあそこに来て、庭からは下に江戸川を見て、武蔵国、遙か遠くに富士山を眺め、そうしたところが戦火にならなかった。そのような慶喜や昭武の生活を追体験したいという人も出てくるでしょう。先日もテレビで昭武のレシピでアイスクリームをつくるというのをやってみましたけど、それだけではなくて、お殿様が食べていたものはこうだよ、素材としてそのなかには松戸の野菜もあったりして、掘り起こしていくと松戸の農業もあらためて振興、展開していくでしょうし。以前も話しましたが、当時の日々の暮らしの雑貨をおみやげで作るとか。製造業の振興にもつながります。これだけの価値のある、戦略的な場所というのはあまりないんじゃないかと思っています。

#### (吉原氏)

- ・角畑さんから先ほどお話がありましたが、地方創生の取り組みは始まったばかりということで、総体的には同じような意見です。
- ・NO. 1 「介護人材育成のための事業」について、高齢化社会に松戸も対応していかななくては行けませんから、この事業に限らず、色々なことをやっていかななくてはならないと思います。
- ・NO. 2 「放課後児童子ども総合プラン事業」について、放課後KIDSルームの学習支援は人気があるということで、調書では、予定通り終了、となっていたので、続けられればいいのになど意見を述べるつもりでしたが、松戸市独自で今年度も実施しますとのことなので、よかったなと思っています。子育てに関しては松戸市は全国的にも有数の評価を受けているんですね。そうしたことが地方創生の松戸市のブランドになっていくので、こういうことはどんどん続けてもらえればと思います。
- ・NO. 6 「徳川の家と庭 文化・観光国際化対応事業」、NO. 7 「コンテンツ産業振興事業」、コンテンツ産業は市場規模が12兆円ともいわれていると書いてあります。それからNO. 12 「若者と女性が創造的に働くためのフューチャーセンター構築事業」、国からも、先駆的である、として交付金が認められているということですから、これら3つの取り組みをどんどん外に発信して、松戸のブランド力を高めてもらいたいなと思います。
- ・戸定邸に関してですが、昨年静岡で行われた商工会議所の全国大会において、家康没後400年とのことで徳川家に関わる地域、市町村のネットワークをつくるということで静岡と浜松が中心となって全国に呼びかけてたようなんです。ところがそこに松戸の名前が無いんですね。松戸では徳川、戸定邸、といいますが、全国的な知名度はまだまだなのかなという印象です。松戸にもこういうところがあります、とネットワークには入れてもらいましたが、眞壁さんも言うておられるように、大変いいところですから、どんどん外に発信していただきたいと思っています。角畑さんから先ほどお話がありましたが、人口を増やすという計画ですから、松戸の魅力をどんどん発信して人口

増につなげていくことが必要と思います。

#### (高橋氏)

- ・意見をいただいた交付金事業については、短い期間のなかで各部署の職員が考えて、出してきたものです。結果としてK P Iの達成につながらなかったものもありましたが、職員みな一所懸命取り組んだということはこの場でご報告申し上げます。
- ・N O. 7「コンテンツ産業振興事業」は、特徴的な産業が無いといわれる松戸市のなかで、雇用の創出やクリエイターの定住促進、そこからまちづくりにつなげていくという視点を持っています。先日の東京ゲームショウにも出展し、官民が連携した珍しいケースということもあり注目が集まっています。雇用の創出、規模的にはまだまだこれからですが、そういう視点を持った取り組みを市の職員が企画し、先駆性が認められ国の交付金を受けて実施しているということは意義のあることで、しっかり見届けていきたいと思っています。
- ・積極的に交付金を活用して総合戦略で掲げた事業を推進していこうという市の方針のなかで、いろいろな部署が取り組み、そこで出た結果を、今回皆さんと検証しました。今後も検証のなかで、引き続き一緒に見て行って頂きたいと思います。

## (2) 松戸市総合戦略等の検証について

### ○事務局より資料2-1、2-2、2-3、2-4について説明

#### (事務局)

- ・重要業績評価指標（K P I）についての検証資料は、次回懇談会でお示ししたい。
- ・総合戦略の最上位目的は、人口減少社会の克服と認識しているので、人口の動向は常に見ておく必要があると考えています。
- ・総合戦略に盛り込まれた事業が実際に予算化されているのかということも確認していかなくてはなりません。
- ・総合戦略で掲げた数値目標やK P Iは平成31年あるいは31年度の目標値を設定していますが、その結果で出るまでの毎年の検証にあたっては、そこに近づいているのか、遠ざかっているのかという視点で見たい。検証の資料もそのようなものをお示ししていく予定です。
- ・次回懇談会は2月下旬に開催したいと考えています。総合戦略の中間年にあたる29年度予算案に、どのような取り組みが事業化されているのかを確認するとともに、K P Iの現状値など指標を見ながらの検証をして頂く予定です。

### (影山氏)

- ・各地で総合戦略が策定されて、広い意味でのまちづくりが進んでいく中だと思います。他市も様々な魅力を打ち出していくなかで松戸市もどのようなブランディングをしていくのかというのは大事になってきます。行政、企業、市民活動団体などがどう連携して魅力あるものを創っていくのが大事になると思います。事務局から新規事業のご紹介もありましたが、課題解決人材のところはすべてかなと正直思っています。昨年商工会議所の創業塾にも参加しましたが、若い世代の、なんとか自分のまちを良くしたいという社会起業家的な目線、そうしたなかでお金を生み出していくにはどうしたら良いか、ということに興味のある若者もだいぶ増えていますので、女性とか若い人たちがまちの中で活躍していける、そうした人材育成につなげていければ、総合戦略にある事業の担い手としても活躍していくのではと思います。

### (角畑氏)

- ・松戸市に限らず各市町村が、地方創生のもとで切磋琢磨しています。松戸市人口ビジョンは社会増で人を増やしていこうということですが、各市町村が頑張っていますので難しいことだと思うんです。切磋琢磨していくなかで自然増につなげていければと思います。

### (高山氏)

- ・私たちの職場でもそうですが、どうしても働くことばかりに目がいて、地域とのつながりを疎かにしがちです。そうしたことをなるべく無くしていきたいと思ったり、今日の皆さんのご意見も、我々の活動の参考にさせていただきたいと思ったりします。

### (平岩氏)

- ・人口動向の説明がありましたが、過去最高となったということで良いスタートが切れていると思います。いろいろやっていく中で、アレンジも必要と思いますが、こういう状況を継続していくために、一緒にがんばっていききたいと思ったりします。

### (眞壁氏)

- ・切磋琢磨というお話がありましたが、国としては、地方が競い合って、何か出してくればという想いなのでしょうけれども。そういう中で同時にまた、松戸ならではの、あるいは初めから差別化できて競争どころかアッという間に抜け出してしまうような視点も持っておいたほうが良いかなと思います。戸定邸の話をするのはそういうことなんです。そういうことを両方にらみながら進めて頂きたいと思ったりします。

### (吉原氏)

- ・商工会議所もまちづくりに関係する機関ということになると思いますが、いま全国500を超える会議所では、事業者に対してどういう支援をしていくか、その支援の中身を明確にしてくださいということで、国に経営発達支援計画というのを出します。松戸商工会議所は地域の企業、事業者に何を、どうするんですか、ということを書いて、

認定を受けて事業をなささいということになっています。地域に対して真剣にやりなさいということなんだろうと思います。松戸のイメージが良くなって人がいっぱい来ないと、事業所も来ないんですね。そういう意味でも、繰り返しになりますが、本当に良いところはどんどん外に発信して、イメージアップ、ブランド力を高めていったら良いと思っています。

**(高橋氏)**

- ・たくさんのご意見を頂き、大変参考になりました。各部門がなるべく良い施策をつくって、それを実行しながら、発信して市内外に知っていただくということが重要と思っています。事務局説明にもありましたが、映画館でCMを流そうといった新しい動きも出てきています。皆さまのご意見を参考にしながら一緒に進めて参りたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

**■次第3 「事務局からの報告」**

**(事務局)**

- ・平成29年度から32年度までを期間とする、総合計画第6次実施計画の策定作業をしています。これまでの実施計画と異なり、総合戦略のアクションプランという位置づけも持つ計画となります。総合戦略を受けて、29年度からは実際にどのようなことをやるのか、事業計画として取り組んでいこうか、ということが第6次実施計画に記載されます。いま配布した素案に対して、今週の土曜、10月1日からパブリックコメント手続を実施します。来年3月くらいの成案化に向け動いておりますので、ご承知おきください。

**■次第4 「閉会」**

以 上